

### 館長コラム③ モンシロチョウ

♪ 蝶々 蝶々 菜の葉に止まれ 菜の葉に飽いたら 桜に止まれ ♪  
(作詞 野村秋足 曲 ドイツ民謡)

この童謡の蝶はモンシロチョウ（以下、モンシロと略す）だとかってに解釈しています。菜の花ではなく菜の葉ですから雌が産卵のために葉にやってくる行動を表した歌詞でしょう。だから歌詞のように桜に移動することはないと思います。菜の葉にやってきた雌には交尾しようと雄たちが群がってきます。人間の目では飛んでいるモンシロは真っ白で雌雄の区別などほぼ不可能ですが、モンシロにはすぐにわかります。紫外線（UV）が見えるからです。紫外線のおかげで雌は白く、雄は黒く見えるらしいです。交尾を経験した雌は雄が交尾に来ると腹（しっぽ）を上にあげてとまり、拒否の姿勢をしめします。その後雌は食草に1mmぐらいの卵を1個ずつ産んでいきます。



スジグロシロチョウ *Pieris melete*

同科同属の蝶でモンシロにそっくりなスジグロシロチョウ（以下、スジグロと略す）という蝶がいます。スジグロはその名の通り翅を支える筋の部分が黒くなっています（写真参照）。モンシロと同じようにアブラナ科の植物を食べますが、ナネツケバナやイヌガラシなどの野生種が中心です。モンシロと同じ場所にもいますが、木陰などの薄暗い場所にいることが多いです。西原ではモンシロよりもスジグロの方が多く感じます。

初夏になるとウメエダシャクという一見モンシロやスジグロに似た蛾が飛んでいます。蝶は昼に活動し蛾は夜に活動することが多いですが、ウメエダシャクは昼間飛び回る蛾です。名の通り幼虫は梅の葉を食べる尺取り虫です。白い蝶を見たときは観察してみてください。



ウメエダシャク *Cystidia couaggaria*



モンシロチョウ *Pieris rapae*

シロチョウ科モンシロチョウ属のモンシロは奈良時代に大根の伝来と共にやってきたと言われています。アブラナ科植物の大害虫です。大根はもとより、白菜、キャベツ、ブロッコリーなどすぐに穴だらけにされます。詳しくはNHK教育テレビの「昆虫すごいぜ（香川照之出演）」のモンシロ編を見てください。ネットで検索すると同番組のページに行け、そこに動画があります。

【田辺市のホームページ（生涯学習課公民館係）では上記写真データをカラーで見ることが可能です】

# 長野公民館だより

館長 米本 憲市 主事 浦野 泰之

事務所：田辺市中三柄805番地 三柄コミュニティセンター内

TEL：(0739) 34-0022

FAX：(0739) 33-0836



## お盆のソフトボール・囲碁ボール【中止】のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、またもや全国的に増加傾向にあり、第7波の大流行も懸念されています。（7月中旬時点）

身体的接触が時に避けられないスポーツ競技においては、完全な形で感染リスクを排除することはとても難しく、特にお盆のシーズンとなると、都市部からの帰省者との交流機会も増え、感染拡大のリスクが増加することが予測されます。

長野公民館体育委員会では、選手や観客等すべての関係者の健康と安全を最優先とし、本年度のお盆のソフトボール大会及び囲碁ボール大会については、中止とさせていただきます。

3年連続の中止となり、大会を楽しみにしてくれていた方には大変申し訳なく、とても残念ではありますが、どうかご理解くださいますようお願いいたします。

他の文化行事等につきましては、今後の感染状況に注視しつつ判断し、公民館報等でお知らせさせていただきます。引き続きご協力をお願いいたします。

体育委員長 那須 仁 暢  
公民館長 米本 憲市

## 長野子どもクラブからのお知らせ

例年8月に実施している廃品回収は、今年は都合により10月に実施します。  
多くの皆さまのご協力をお願いします。

## 長野公民館区人口統計【6月末現在】

地区	男	女	人口	世帯数
長野	189	223	412	201
伏菟野	41	51	92	60
上野	49	63	112	59
合計	279	337	616	320

## 移動図書館 8月の巡回日程

8月24日（水曜日）  
長野 東原  
午前9:30～10:10

### 世界遺産熊野古道 有志8名で長尾坂除草作業

台風4号の影響で降り続いた大雨も上がり、外にいただけで汗が出るほどの暑さとなった7月7日、地元有志など8名が参加し、世界遺産熊野古道の長尾坂の除草作業を行いました。

田辺市の長野地域は梅やミカンの農家が多い地域で、作業に参加した皆さんも草刈のプロ集団！お決まりの強力防虫赤線香を腰に燻べ、いでたちからして外の仕事師。

段取りも手際も良く、古道沿線に草刈機のエンジン音がこだますると、延長約1kmの作業もアツという間の1時間で終了しました。

今後、コロナの感染状況も気になるところですが、雑草が刈り取られて歩きやすくなった熊野古道には、世界中から多くのウォーカーが訪れてくれることでしょう。

次回の除草作業は、8月23日の予定（天気都合等で変更する場合があります）ですが、暑さに負けないようしっかりと水分補給をしながらがんばりたいと思います。



### 衣中2年生 ポスターセッションでSDGsを学ぶ



衣笠中学校で総合的な学習の一環で取り組んでいるSDGs学習。6月24日にポスターセッションが行われ、学社融合推進協議会のメンバーも招待いただいたので見学に行ってきました。SDGsを学んでいるのは2年生（3クラスで80人）。グループに分かれて手づくりポスターを作成し、セッション当日は体育館の壁面にポスターを貼り付け、SDGsの内容を分かりやすく説明していました。

カメラ

シリーズ?

ぶらり

散歩③ 熊野古道「潮見峠」

とても広くて紹介すべきスポットが多い長野公民館区。今回のショットは、世界文化遺産熊野古道のビュースポットでもある「潮見峠」の1枚です。

田辺市街地から本宮に向かって熊野古道を進むと、三栖王子から富田川沿いを滝尻王子まで上るコースと、長尾坂を上り潮見峠を越えて滝尻王子に下りるコースに分かれます。

潮見峠越えは、江戸時代の西国巡礼が盛んだっところよく利用されたショートカットルートで、どちらかといえば比較的新しい道だといわれています。

田辺湾を見下ろせば、白浜の町並みや遠くには大海原を進む大型船も確認できます。だから「潮見峠」。そのまんまですけど、いい名前ですね！



潮見峠から田辺白浜方面を望む

### 伏菟野の土砂災害から防災を学ぶ【衣笠中】



伏菟野の復旧現場での学習の様子

あれから11年が経過しようとしています。尊い命と財産を一瞬のうちに奪われてしまった思い出したくもないほど悲しい出来事。台風12号の紀伊半島豪雨による未曾有の土砂災害です。

でも私たちには、このことを未来に語り継ぎ、そして学び、災害対策を講じていく義務があるのです。

衣笠中学校では校区内の伏菟野で起こった痛ましい災害現場を生きた教材として活用し、地元の精通者（2名）を講師に招き、防災学習を実施して今年で2年目となります。

防災学習は1年生

（77名）のプログラムで、2班に分かれて行われました。復旧現場（伏菟野）では地元の宮永昌幸さんが当時の様子や地域の説明を行い、生徒たちは土砂災害の規模の大きさを目の当たりにし驚きを隠せない様子でした。また学校内での講話は谷口順一（当時伏菟野区長）さんが講師を務め、当時の悲惨な状況や地元の協力体制、復旧までの道のり、災害に強い伏菟野地区を創る現在の取組などについてスライド投影を交えながらお話しされました。

今後長く続く子供たちの将来の中で、今回の学びが防災対策の一助となり生かされることに期待したいものです。



衣笠中学校内での講話の様子